第8章

資料編

計画の基本的事項
第1章

障害者
施策の現状
第2章

計画の全体像
第3章

計画の推進体制
第4章

重点施策
第5章

基本施策
第6章

障害福祉計画
第7章

第8章

1 障害者関連施策の最近の動向

	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
全体的枠組み	・障害者基本法の改正（5月） ・改正障害者基本法の一部施行（6月）		・障害者権利条約を採択（12月）	・改正障害者基本法の施行（4月）
雇用・就業		・障害者雇用促進法の一部改正法の成立（6月） ・改正障害者雇用促進法の一部施行（10月）	・改正障害者雇用促進法の施行（4月）	
教育・育成		・中央教育審議会「特別支援教育を推進するための制度の在り方について(答申)」（12月） ・発達障害者支援法の施行（4月）	・学校教育法等の一部改正法の成立（6月）	・改正学校教育法等の施行（4月）
生活支援	・発達障害者支援法の成立（12月）	・障害者自立支援法の成立（10月）	・障害者自立支援法の一部施行（4月） ・障害者自立支援法の施行（10月）	
生活環境		・ユニバーサルデザイン政策大綱の公表（7月）	・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の成立（6月）	・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の施行（公布日から6か月以内）

2 策定委員会設置要綱・委員名簿

東広島市障害者計画・障害福祉計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 東広島市における障害者施策について総合的に検討し、障害者基本法（昭和45年法律第84号）第9条第2項の規定に基づく東広島市障害者計画及び障害者自立支援法（平成17年法律第123号）第88条の規定に基づく東広島市障害福祉計画（以下「計画」という。）の策定に資するため、東広島市障害者計画・障害福祉計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、計画の策定及び進行管理（以下「策定等」という。）に関する重要な事項について審議するものとする。

(組織)

第3条 委員会は、委員20名以内をもって組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係行政機関及び関係団体の代表者
- (3) その他市長が必要と認める者

3 委員は、計画の策定等に係る審議が終了したときは、解嘱又は解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第4条 委員会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(ワーキンググループ)

第5条 計画等の素案を検討し、委員会の審議を円滑に推進するため、ワーキンググループ（以下「グループ」という。）を設置する。

2 グループの委員は、東広島市の医療、福祉、保健の実務に携わる者及び利用者等の中から市長が委嘱又は任命する。

3 グループに、リーダー及びサブリーダー各1人を置き、グループの委員の互選によりこれを定める。

4 リーダーは、グループを代表し、会務を総理する。

5 サブリーダーは、リーダーを補佐し、リーダーに事故があるとき又はリーダーが欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会及びグループの会議はそれぞれ必要に応じて会長又はリーダー（以下「会長等」という。）が召集し、会長等が議長となる。

2 会議は委員の過半数が出席しなければ開催できない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長等は特に必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、福祉部社会福祉課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

策定委員会委員

会長 落合 俊郎 広島大学大学院教育学研究科 教授	副会長 小島 正弘 身体障害者通所授産施設松賀苑 施設長	赤坂 秀則 知的障害者更生施設西の池学園 施設長
秋田 倍栄 東広島市心身障害児・者父母の会 前会長	植田 秀子 東広島市人権擁護委員協議会	垣尾 泰弘 精神障害者通所授産施設なかよし 施設長
柏木 英三 精神障害者家族のつどいの会 代表	川北 英孝 広島中央地域商工連絡協議会 専務理事	野口 憲光 東広島市身体障害者福祉連合会 会長
坊岡 正之 広島国際大学医療福祉学部 助教授	村上 タツ子 東広島市民生委員児童委員協議会 会長	山岡 信明 東広島地区医師会 理事
吉寄 四郎 東広島ボランティア連絡協議会 会長	橋本 太 広島西条公共職業安定所 所長	高橋 九美雄 広島県東広島地域事務所 厚生環境局長
村田 静治 東広島市社会福祉協議会 事務局長	窪田 恒治 東広島市教育委員会 学校教育部長	高橋 康裕 東広島市 福祉部長

※平成 19 年 3 月 1 日現在・順不同・敬称略

ワーキンググループ委員

ライフステージ 移行支援	リーダー 安藤 公二 広島県立身体障害者リハビリテーションセンター総合相談室 室長補佐	津川 典子 東広島市地域子育て支援センター 東広島サムエル保育園 センター長
寺本 豊子 東広島市中心身障害児親子教室 会長	西村 浩二 広島県発達障害者支援センター 所長	小川 寛 東広島市教育委員会学校教育部指導課 指導主事
高原 美幸 東広島市福祉部児童福祉課 専門員	桧山 和子 東広島市福祉部東広島市保健センター 所長補佐兼母子保健係長	西本 奈留美 東広島市福祉部社会福祉課 福祉サービス利用支援員
就労・社会参加 支援	曾根 都 さぼーとせんたーかもみ〜る センター長	石川 千治 ふれあい共同作業所 所長
大下 ちなみ 東広島市手をつなぐ育成会 事務局長	小川 雅浩 広島県立黒瀬養護学校 教諭	久保田 勝彦 デイサービスセンターもやい志和 代表
鈴政 浄志 広島西条公共職業安定所 上席職業指導官	森永 高治 みどりの町障害者就業・生活支援センター 支援ワーカー	藤瀬 泰城 東広島市産業部産業振興課 労政係長
住まいの支援と 権利擁護	金子 百合子 地域生活支援センターまほろば 施設長	大歳 明子 賀茂精神医療センター 医療社会事業専門員
サブリーダー 角谷 美保 身体障害者療護施設ときわ台ホーム リハビリ課長補佐	能島 裕子 知的障害者小規模通所授産施設つばさ 所長	古川 良和 東広島未来研究会 代表
松浦 玲子 広島県東広島地域保健所保健課 主任技師	四通田 仁 東広島市社会福祉協議会 地域福祉係長	上田 祐子 東広島市福祉部児童福祉課 子育て支援係長

3 策定経過

策定委員会	ワーキンググループ会議	その他	内容
第1回 5月12日			・障害者自立支援法・計画策定の概要説明 ・障害者福祉の状況報告・アンケート調査検討
	第1回 5月16日		・障害者自立支援法・計画策定の概要説明 ・障害者福祉の状況報告・アンケート調査検討
	第2回 6月21日		・現状と課題の抽出
		アンケート調査 6月27日 ～7月12日	・在宅の障害者、施設入所者、病院入院者、障害児を対象に日常生活、就労、日中活動等についてアンケート調査を実施
		ヒアリング調査 7月11日 ～9月19日	・9つの障害者団体等を対象にニーズ等を聴き取り調査を実施
	第3回 8月9日		・アンケート調査・ヒアリング調査報告 ・現状と課題の抽出
第2回 8月25日			・アンケート調査・ヒアリング調査報告 ・地域生活支援事業報告・サービス見込量等の検討
	第4回 9月11日		・課題整理と施策案検討
	第5回 10月5日		・重点課題と施策案検討 ・計画骨子の検討
	第6回 11月22日		・目指すべき方向の整理 ・計画骨子の検討
	第7回 12月13日		・重点課題の施策整理
第3回 12月26日			・計画骨子・サービス見込量等検討 ・障害者福祉フォーラム開催検討
		障害者福祉フォーラム 1月27日	・第1部 露の団六さんによる基調講演 ・第2部 露の団六さん、障害者の家族、相談支援コーディネーターによるリーレートーク
	第8回 2月20日		・障害者福祉フォーラム報告 ・計画素案の検討
第4回 2月27日			・障害者福祉フォーラム報告 ・計画素案の検討
		パブリックコメント 3月1日～14日	・市のホームページに計画の素案を掲載し、意見を募集 アクセス：723件・意見：9件
答申 3月23日			・会長、副会長が市長に答申

4 私の想い 障害者福祉のこと、計画のこと、このまちのこと。

※平成19年1月27日に開催した障害者福祉フォーラムでのアンケートより抜粋

障害者の家族は、ましてや子どもに障害がある親は、“親なら当然”として子どもの世話にあたってきたところがありました。当然とは何でしょう？いくつになったら自由になれるのかという思いをずっと持ってきました。やはり家族の日常生活に無理のない、楽しい生活になっていくような福祉が必要だと思いました。

障害者とその家族に対するサービスの充実が大切だと思います。障害者でも障害のない人と同じように生きていくことができるように、その障害を認めてあげて温かく受け入れてあげる環境を作っていくことが必要だと思うのです。

障害者も高齢者も誰もが安心して暮らせる環境づくりのために各地域で自由に参加でき、コミュニケーションがとれる環境を望みます。行政は、各地域で地域住民の小さな声が盛り上がっていくような施設、設備、サービスの充実を考えて欲しいです。

障害者が暮らしていくことの困難さを本人や家族が負担するばかりでなく、行政や公的機関の支援と、さらに地域の理解と協力が必要だと思います。

生活に自信を持つためにも、現実として生活費を少しでも稼ぐためにも、障害者の就労に全力あげて取り組んで欲しいと思います。

障害の早期発見ということが大切であると思います。乳幼児期の支援を大切にしてもらいたいです。また、乳幼児期に気軽に相談できる場をしっかりとつくってもらいたいです。

障害者計画は、当事者と関係者たちの間だけの計画ではなく、みんなが暮らしやすいまちになるかどうかを握っている計画です。みんなに関心をよせてもらえるようなものになってほしいと願います。「自分がどう暮らしたいか」が沢山集まって、個々のニーズで選べる東広島に！！

この計画は、当事者及び関係者抜きではできないものであると思うので、できる限り多くの人参加によって、策定されることを望みます。実現できるものとなるようにしなくてはならない。口先だけではだめです。

すべての人に対して完全な計画はできないと思います。計画に関わっている人は東広島をよりよいまちにしようと思っている人たちだと思います。そんな人たちがつくった計画を自信をもって実行、実現してほしいと思います。そして私も自分のできる部分で協力したいと思います。

誰もがいつ人の助けを多く必要とするの
か分かりません。できるなら、「障害者
計画」と言いながらも、今あるものを必要性
があれば誰もが使える支援にしてほしいと思
います。高齢者も中年も若い人も子どもも、
それぞれ助けが必要なことや時があります。
サービスを対象者で区切ると、管理しやすい
でしょうが、区切る壁は最低限であってほし
いと思います。

人口が集中している市内中心部の対策と
ならないように、周辺部の人々の意見
を踏まえた計画にすることが大切だと思いま
す。財政状況もちろんです。民間委託の
みではなく、公の責任として民間で出来ない
ことは公がやってほしいです。周辺地域は切
り捨てられる感がしています。このようなフ
ォーラムを周辺地域でも開催してほしいと思
います。

親なき後を心配しなくてもいいような社
会になれば、先のことを考えず安心で
きます。兄弟姉妹がいてもそれぞれが生き生
き生活できれば、本当にいい、住みよい社会
だと思います。

いつまでも親は一緒にいられません。み
んなで支えあう中で兄弟姉妹も色んな
人との繋がりを持ち、生きていける社会づく
り、まちづくりができればいいなと思います。

障害児が通う学校にいる者としては、一
人の人間として障害が普通と感じられ
る学校や地域づくりのためにやっていきたい
と思います。地域の力、人の力を底上げして
いきましょう。

障害者の親の会はあるけれど、兄弟姉妹
の会がないので、何かそういう会があ
ればいいなと思います。兄弟姉妹も生涯にわ
たりずっと世話をしていけないといけないの
が現実で、親がいなくなっても、自分の
生活（新しい家庭）を営みながら、障害のある
兄弟の面倒をみる。何かと心配が残るのが、
やっぱり現実だと思います。

地域の人すべてが障害者に対する関心を
持つことが重要です。地域の広報紙や
新聞、マスコミなどが障害者の家族の声をも
っとたくさん取り上げて、できるだけ多くの
人が障害者に対する記事を目にすることがで
きるよう取り組んで欲しいと思います。

障害者の親としての願いなのですが、く
るくる変わる制度には、ついて行き難
くなっています。そんな状況の中で障害者が
住みよい“まち”について思うことは「居住
の場、日中活動の場、余暇活動（文化）の場、
が保障されていること」です。三つの場が、
バランスよく整ったまちで暮らしてほしいと
願っています。すべての人間の住む、まち・
社会・国のあり方を思う時、1980年の国際
障害者年で叫ばれた「社会的弱者と呼ばれる
人々―老人、子ども、障害者を大切にする社
会ほど堅固な社会はない」という言葉を思い
起こします。

東広島市障害者計画・障害福祉計画
地域共生のまちづくり
～このまちで私らしく生きるために～

発行

平成19年3月

編集

東広島市福祉部社会福祉課
〒739-8601

東広島市西条栄町 8-29

TEL (082) 420-0932

FAX (082) 423-8065